

# 議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 130

2004年7月27日



わたしのねがいをかなえてね

6月定例会

アワビ養殖事業に助成	補正予算	2P
米山育英奨学金条例を制定	請願・陳情	3P
離岸堤災害復旧に有効な手段は	常任委員会	4P
新しい委員会メンバー決まる		6P
町政を問う 代表・一般質問(8議員)		7P
「自然豊かな入善にて！」入善町に移り住んで		16P

# アワビ養殖事業に助成

## 持続的な生産体制や安定経営を支援

### 6月補正予算の概要

今回の補正予算は、深層水を活用したアワビ養殖事業を支援するため助成を行う。また、離岸堤の災害復旧費を補正した。さらに米山氏からの寄付を基金とした育英奨学金を予算化した。

これらによる一般会計の補正額は1億5855万円で、総額は104億6665万円となった。

アワビ養殖事業に助成  
5000万円

海洋深層水を活用したアワビ養殖事業において施設改善、多段利用、販売促進などを行い、持続的な生産体制の確保および安定経営を支援することを目的に助成を行う。

離岸堤などの災害復旧  
費に  
7425万円

冬の波浪により飯野地区のさわやか海岸の離岸堤などが被害を受けた。今回、国の災害認定を受け、被災離岸堤の復旧を行う。



復旧が待たれる離岸堤

行財政改革大綱策定  
委託料に  
170万円

町が策定する行財政改革大綱見直しプランについて、専門的立場から技術的支援を得るため業務委託を行う。

稲作機械などの購入に  
助成  
900万円  
(県600万円 町300万円)

農業組合法人を設立したオンワード西島(青木地区)に、稲作にかかる機械などの購入に対し助成する。

中学生に育英奨学金  
90万円

米山六博氏からの寄付を米山育英奨学金(600万円)として積立を行った。その基金をもとに中学生を対象に支援する。各学年5人で、1人に対し1カ月当たり5000円を支給する。

地域ぐるみでの学校安全の  
推進に  
130万円

子どもたちの安全を地域ぐるみで守ることを目的とした事業を、国の助成を受けて行う。地域ぐるみ学校安全推進委員会を設立し夜間巡視、講演会などを行う。

意見書提出を求める請願

寒冷地手当見直しに関する請願

請願者 連合富山官公部門連絡会

富山県寒冷積雪給対策協議会

現在の寒冷地手当制度や支給水準を維持するよう国に意見書の提出を求める。

継続審査とした。

意見書提出を求める陳情

寒冷地手当の「見直し」改善を行わず、改善を求める陳情

陳情者 富山県国家公務員労働組合協議会

相場賃金に影響する寒冷地手当など公務員給与を改善するよう国に意見書の提出を求める。

継続審査とした。

緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める陳情

陳情者 富山県労働組合総連合

緊急地域雇用創出特別交付金を継続するよう国に意見書の提出を求める。

賛成全員で採択した。

富山県の最低賃金の引上げと最低賃金制度の抜本改正を求める陳情

陳情者 富山県労働組合総連合

全国一律の新しい最低賃金制度を創設することなど、国に意見書の提出を求める。

継続審査とした。

条例・規則

入善町印鑑条例の一部改正について

本人確認の徹底と原票を磁気ディスクをもって調製することを定める。

賛成全員 原案可決

米山育英奨学基金条例の制定について

米山六博氏から教育奨励のために寄せられた篤志をもとに、教育の振興を図るための基金を設置する。

賛成全員 原案可決

下水道事業の業務委託契約

入善町公共下水道入善浄化センターの建設工事委託に関する基本協定の締結

入善町東五十里地内の入善浄化センターで、第3期建設工事に着手する。

水処理施設・汚泥処理施設・塩素混和池の建設を行い、平成18年12月の供用開始をめざす。

これにより一日あたりの処理能力は、従来より2500ト増え7500トとなる。

委託の相手方は、日本下水道事業団。

賛成全員 原案可決

入善町公共下水道北陸本線西入善・入善間下水道管新設工事委託に関する協定の締結

入善町目川地内で、県道青木吉原線の目川踏切に下水道管を新設する。

鉄道との交差工事となるため、安全確保が必要となることから西日本旅客鉄道株式会社に委託する。

工期は、平成17年3月31日まで。

賛成全員 原案可決

# 員会レポート

## 総務

行財政改革大綱の民間委託は適切か

**Q** 入善町は単独行政を選択し、行財政改革を進めようとしている。行財政改革大綱の委託は業務の丸投げではないか。

**A** 業者の専門的立場から技術支援を得るための業務委託である。職員にワーキングチームをつくり、その策定の見直しも

行うので、業務委託は丸投げにはあたらない。

「行財政改革町民懇談会」は公開にすべきだ

**Q** 町当局に提言する「行財政改革町民懇談会」はオープンにすべきと思うが。

**A** 公開が原則である。また、ケーブルテレビ、マスコミなどを利用して町民に周知する。

**Q** 町の実態を正しく理解する上で、各種統計調査のデータは重要である。これも町民に公開すべきである。



不侵者に備える訓練

**A** 統計調査のデータもケーブルテレビ、広報などで周知するようにしたい。

## こんな意見も

◎本会議、委員会においても、職員が議員の質問に答えられないことは恥ずかしいことである。もっと調査をしておくべきである。

◎町民に議会の開催を知らせるために一層の取組を求める。

## 教育福祉環境

「地域ぐるみの学校安全推進委員会」の活動内容は

**Q** 国のモデル事業として、「地域ぐるみの学校安全推進委員会」が設立されるが、その活動はどのような内容か。

**A** 昨今の教育現場を取巻く状況は大変厳しい。幼い児童が被害者・加害者となる

事件が世間を騒がせるなかで、学校、地域、行政が連携し学校の安全を守るため、「地域ぐるみの学校安全推進委員会」が設立される。

今年度は、国の委託金をもとに、体制づくり、夜間巡視、講演会などが行われる。

米山育英奨学基金の適用を公正、厳正に

**Q** 米山六博氏の篤志をもとに米山育英奨学基金が設置された。その制度をよく周知させ、選定は公正、厳正にせよ。

**A** この基金をもとに就学が困難な中学生の就学奨励金として活用する。

運用にあたっては、学校より生活状況を見て推薦を受け、学年で5名に適用する。

# 常任・特別委

学校での外部者暴力事件の再発防止徹底を

Q 入善西中学校において、外部訪問者による暴力事件が発生した。学校の対応は適切であったか。

A 校長、男性教諭が対応した。生徒に影響を及ぼす事を懸念し入善警察署に通報した。適切であったと思う。

## こんな意見も

◎外部からの不審電話に対応するため、ナンバーディスプレイ(着信番号表示)電話を設置し予防にあたれ。  
◎警察と連携し不審者への対応訓練をせよ。  
◎保育所などは女性のみの職場である。施設はもちろんであるが、男性の保育士も採用すべきでは。

## 産業経済



3カ月で1mも育つ深層水のコンブ

アワビ養殖事故の原因究明と国、県との連携支援を

Q アワビ養殖事業の事故対策と技術確立の取組は、今後どのようにするのか。

A メーカーによるろ過機の交換で、水質や熱交換の効率を良くし、経費も安くなるよう努力する。

Q 対策が後手になっているように見受けられるが、

A 全国初の事業で勉強不足だった感は否めない。国、

県の研究機関とも連携し、種苗の死亡率を抑え、技術の確立をめざしたい。

離岸堤の災害復旧に有効な手段はないか

Q 海岸の災害復旧に対してかなりの投資をしてきたが、有効な手段はないのか。

A 25ㄻや30ㄻの波消ブロックを投入して災害に対処しているが、冬季の寄りまわり波による災害を防ぎきれない状況である。

Q 国、県の補助事業だが、なかなか有効な工法がないのが現状だ。

## こんな意見も

◎下水道工事の踏み切り横断工事では、地元への説明を十分にしてほしい。

◎深層水養殖事業に関して、エビやカニ、コンブなど、他の種類にもチャレンジしはどうか。

## 訂正とお詫び

4月27日発行の「議会だより129号」の委員会レポートで、誤りがありました。訂正してお詫びします。

## 誤りを言ひ文

Q 集落営農と中核農家で、農地の受委託をめぐっていざこざが出てきている。行政は指導しているか。

A (略)トラブルがあったときは間に入って対応した。

## 訂正文

Q 集落で新規の担い手農家の推薦をめぐって、問題が出てきている。(略)

A (略)トラブルがあったときは間に入って対応したい。

# 議長 元島正隆氏 副議長 上野等氏

## 新しい委員会メンバー決まる

6月議会定例会の最終日21日、私約交代により新しい委員会メンバーを次のとおり決定した。

☆議会運営委員会						
委員長	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員
本多 幸男	佐藤 一仁	中瀬 範幸	長田 武志	長谷 友義	九里 郁子	広瀬喜代志

議長	副議長
元島正隆	上野等

☆特別委員会						
委員長	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員
上田 健次	松沢 孝浩	佐藤 一仁	中瀬 範幸	長田 武志	松田 俊弘	大橋美椰子

☆行政財政改革						
委員長	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員
上田 健次	松沢 孝浩	佐藤 一仁	中瀬 範幸	長田 武志	松田 俊弘	大橋美椰子

☆下水道対策						
委員長	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員
山下 勇	長谷 友義	松沢 孝浩	谷口 一男	西尾 政巳	広瀬喜代志	九里 郁子

☆海洋深層水対策						
委員長	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員
松沢 孝浩	松田 俊弘	上田 健次	谷口 一男	広瀬喜代志	本多 幸男	

☆議会広報編集						
委員長	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員
中瀬 範幸	松田 俊弘	佐藤 一仁	長田 武志	上田 健次	東狐 和	

☆合併問題						
委員長	副委員長	委員は議長を除く 全議員				
五十里隆章	九里 郁子					

☆総務						
委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
長田 武志	上田 健次	松田 俊弘	谷口 一男	元島 正隆	本多 幸男	

☆産業経済						
委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
佐藤 一仁	大橋美椰子	山下 勇	上野 等	五十里隆章	九里 郁子	

☆教育福祉環境						
委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
中瀬 範幸	東狐 和	松沢 孝浩	長谷 友義	西尾 政巳	広瀬喜代志	

☆新川地域介護 保険組合議員						
議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員
松田 俊弘	長谷 友義	元島 正隆				

☆新川広域圏 事務組合議員						
議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員
谷口 一男	東狐 和	元島 正隆				

# 町政のここが聞きたい そこが知りたい

(8人の議員が登場)

**元島正隆** ・教育現場にどう生かすか道徳教育  
(21世紀の会) ・単独町政での行財政改革の基本方針は  
(8P) ・拉致濃厚被害者への町の対応は

**本多幸男** ・※「三位一体の改革」は地方へのつけ回しでは  
(政策フォーラム) ・合併は破綻したが、町をどう発展させるのか  
(9P) ・深層水事業成功の自信は  
・国会議員に年金未納者が多いなか、町民に督促できるのか

**九里郁子** ・自校直営の学校給食を守ることは町当局の使命ではないか  
(日本共産党) ・町長など特別職の給与と議員報酬の見直しを  
(10P) ・高齢者の入院費減額制度を知らせる工夫が必要  
・通院の足を守るためにも広域バスの充実が必要  
・農業を守るために条例をつくる考えはあるか

**松田俊弘** ・13億6000万円の深層水体験交流施設は見直しを  
(11P) ・住宅密集地での防火用水の備えを急ぐべきだ  
・桃李小学校の通学路の抜本的改善を  
・水路の閉塞対策や憩いの場としての海岸整備の検討を

**佐藤一仁** ・拉致濃厚被害者の支援窓口の設置を  
(12P) ・行財政改革の基本方針を問う  
・心の教育について、町教育委員会の独自の指導方針は

**上野等** ・女性救急隊員の養成を検討せよ  
(13P) ・水位低下が懸念される打込み式消化栓の対策は

**東狐和** ・入善町消防団音楽隊設立の考えはないか  
(14P) ・心の教育と命を大切にす教育のあり方は  
・地域に密着した高齢者サービスの整備充実を  
・年金の出前講座の状況は

**大橋美椰子** ・町の若年者雇用対策の現状はどうか  
(15P) ・「地域ぐるみ学校安全推進モデル事業」の活動を示せ  
・総合型地域スポーツクラブ設立の取組は

さんあいつたい

## ※三位一体の改革とは

政府が「骨太方針第3弾」の中で打出した改革で、地方分権と行財政改革が目的。  
国から地方自治体への ①補助金廃止・削減 ②地方交付税縮減 ③税源移譲を同時に進める改革である。

6月議会は8日から開催。代表・一般質問は14日・15日に行われた。  
入善町は単独行政を選択し行財政改革を進めようとしている。行財政改  
革問題では4人の議員が質問に立ち、白熱した議論が展開された。  
主な内容は次のとおりである。

議会事務局に議事録があります

# 教育現場にどう生かすか道徳教育

元島 正隆 議員

## 教育長

### 人格の完成をめざす教育理念で取組んでいく

問 青少年犯罪が増加する今日、日本人の美德とも言うべき道徳教育、すなわち「衣食足りて礼節を知る」、愛国心と文化・伝統を大切に、親孝行や兄弟、友達と仲良くし他を思いやる気持を大切にすることが、今日の教育に欠如していると思う。

米島教育長 戦前の道徳観には「勇」「礼」「誠」「義」「仁」などの他に、「忠義」などが含まれているとして、戦後の学校ではこのことが「国体」に結びつく教育として、道徳教育という言葉は禁句となっていた。

今日、一般社会人や子ども凶悪事件の多発は道徳心の欠如だと思う。しかし、社会人としての人間教育をおろそかにしてきた訳ではない。けれども戦後は、学校で単に知

識を与えることのみ力を注いだものではとの反省がある。

現在の学習指導要領では小学校1学年から道徳教育の時間が設けられている。

行動を通して身につけ、自己を律し主体的に行動できる教育へと意識の転換を図り、先ず家庭で、そして学校で、さらに社会全体の連携で行うことが大切だと思う。

#### 単独町政での行財政改革の基本方針は

#### 「行革元年」として新たなスタートとする

問 町長は、「町は合併しなかったためにすたれたと言われないように、今年を行革元年として全ての事務事業を見直し、町民が合併しなくても良かった、と思われる町づく

りをめざす」と明言された。

その改革の基本的考えを示せ。

米澤町長 「人事を尽くして天命を待つ」の言葉のように、議論し悩み苦しんでの合併協議会の離脱である。

今後の町政運営は、自助努力による行財政改革を行い、従来にも増して町の発展と町民の

幸せの実現に、今年を「行革元年」と位置づけている。

新たな組織である「行財政改革町民懇談会」で、町民各界各層の代表者とともに行革の実施計画や行政サービスの方策、職員意識改革と人材育成について率直な意見や提言をいただき、実施計画の策定を示していく。



他を思いやる道徳教育

拉致濃厚被害者への町の対応は  
国や県、警察などの関係機関と連携し対応する

問 民間調査機関の「特定失踪者問題調査会」が、県内で拉致された疑いのある人は、昭和43年に行方不明になった入善町の女性を含め3人いると発表した。

町長は、このような悲劇をどう認識しているか。政府機関に働きかけ全面解決に向ける考えはあるか。

町長 報道では、北朝鮮による拉致被害者の数は100名とも200名とも言われ、何の罪のない国民をこのような悲劇に追い込んだことに対し、また、町の女性も被害者の1人と知り激しい憤りを感じている。

町では、国や県、警察など関係機関と連携し、ご家族の活動の相談に応じ、全容解明が図られるよう対応したい。



# 「三位一体の改革」は地方へのつけ回しでは

本多 幸男 議員

## 町長 地方にのみ痛みを押し付けるものであってはならない

問 「三位一体の改革」で、地方には1兆円の補助金と3兆円の地方交付税を削っておきながら、税源移譲は6558億円にとどまった。

これは、明らかに地方自治体へのつけ回しと言わなければならぬが、町財政への影響はどのくらいか。

町長 全国の自治体は、事業の見直し、縮小、大幅な基金の取り崩しとなり、県内26の町村全体で76億円の財政調整基金を取り崩した。

町では本年度、保育所運営費など4億6000万円の影響を見込んでおり、住民サービスの低下や住民負担増とならないよう、大変苦慮した。

問 地方交付税は、国税5税の一定割合を、全ての国民に行政サービスを提供する財源として保障するもので、「国が地方に代わって徴収する地方税」である。何をしでかすかと言いたい。

先般、地方6団体の総決起大会で決議された中身を、行政執行にどう生かすのか。  
町長 地方財政危機突破に関する緊急決議を行ってきた。



技術確立が望まれる深層水事業

国の財政は危機的状況にある改革は必要である。しかし、地方にのみ痛みを押し付けるものであってはならない。

自覚と責任を持って行財政改革などの自助努力が急務と考えている。

合併は破綻したが、町をどう発展させるのか

自立した入善らしいまちづくりに取り組む

問 対等互恵の欠如によって、残念ながら合併は破綻したが、入善町をどう発展させるか、町長の基本姿勢を問う。

町長 町に明るい未来が築ける合併であれば、推進すべきという思いに変わりはない。

今後も入善町の将来にとって、最善なものは何かという視点で考え、しばらくは単独での町政運営となる。

自立した入善町らしさを出したまちづくりに腰を据えて取り組む。

深層水事業成功の自信は  
養殖技術の確立に全力を  
傾注、自信はある

問 深層水事業に多くの町民から、慎重論や反対意見がある。と

とは言え、議決した以上は、確固たる技術と方向性で成功させなければならない。当局には、自信があるか。  
笹島商工水産・深層水課長 漁協、メーカー、町が一体となり、養殖技術の確立に全力を傾注しており、自信はある。体験交流施設の最大の目的は、住民の健康増進に尽きると考えている。

国會議員に年金未納者が多いなか、町民に督促できるのか

収納義務が国に移管されてから増加、町も積極的に協力

問 政治家の未納問題にけじめをつけず「年金改正法」を強行採決した。年金不信がある中で、町民の未納者に督促できると思うか。

井田住民環境課長 平成14年度の町民の収納率は、84%で、前年度より8.9%低下した。収納義務が国に移管されてから、未納者が増加している。町も積極的に協力すべきと認識している。

# 自校直営の学校給食を守ることは町当局の使命ではないか

九里 郁子 議員

## 学校教育課長

## 町の特性を生かせる「自校調理方式」のあり方を検討したい

問 入善町の学校給食はこの10年間で4校が文部大臣表彰を受けており、全国でもトップレベルである。なぜ、たび重なる文部科学大臣表彰を受けたと思われるか。

答 安心して安全なものを供給しているからだと思う。

問 給食業務の民間委託を検討するとしているが、低賃金のパートを使用する民間業者で今の給食を維持できるのか疑問だ。

答 今の「自校直営方式」の学校給食を守ることこそ、町当局の使命である。

西田学校教育課長 これからも町の特性を生かせる「自校調理方式」のあり方について検討していきたい。

意見も参考にしたい。

高齢者の入院費減額制度を知らせる工夫が必要

病院窓口でのPRの協力をお願いしたい

通院の足を守るためにも広域バスの充実が必要

各病院への町営バスの運行は考えていない

問 朝日町、黒部市への通院の利便性確保に広域バスを充実する考えはあるか。

町長など特別職の給与と議員報酬の見直し

「行財政改革町民懇談会」の意見も参考にしたい

問 所得の少ない高齢者が入院したとき、本来は限度額1カ月2万4600円でいいのに、一般高齢者の4万2000円を支払っている人がほとんどである。

払いきつた分は町から返ってくるが、4カ月程も後である。これは制度を知らないためである。わかりやすいお知らせのチラシなどを病院から渡してもらおうよう依頼すべきだ。

問 農業を守るために条例をつくる考えはあるか

農業基本条例について研究していきたい



安全でおいしい給食をありがとう

問 町行財政改革で住民サービスの引き下げがあつてはならない。町長など4人の特別職の給与と議員報酬の削減や町長車・議長車の廃止を検討すべきである。

町長 現行のサービス維持が基本方針である。特別職の給与や交際費の見直しや削減は「行財政改革町民懇談会」の

鍋谷健康福祉課長 近隣市町とも連携をとり、病院窓口でのPRの協力をお願いし、制度の周知徹底に努めたい。

問 農業振興の基本となる条例を制定する考えはあるか。

浜田農政課長 今後、研究していきたいと考えている。

# 13億6000万円の 深層水体験交流施設は見直しを

松田 俊弘 議員

商工水産・  
深層水課長

十二分に協議し、  
悔いの残らないようにしたい



改良を急げ通学路

問 深層水施設計画は規模を大幅に縮小し、地域住民の憩いの場か、サンウエルでの沐浴施設にとどめるべきだ。  
商工水産・深層水課長

基本計画策定委員会で各委員から「採算性がとれるのか」とか、「投資額が大きすぎないか」との指摘もあった。今後、十二分に協議し、悔いが残らぬようにしたい。

問 アワビの大量死と市場価格の低迷で、漁協は5200万円もの赤字が出た。今回の町の損害補てん5000万円は当然だが、これ以上の補助

金の投入は町民の理解が得られない。事業は、中止を含めて根本的に見直すべきだ。  
商工水産・深層水課長

日本初の試みで、技術は未確立、原因も特定できていない。衰弱死などの原因を探り、養殖技術を確立したい。

住宅密集地での防火用水の備えを急ぐべきだ

危険度、重要度を勘案し  
計画的に進める

問 水を確保できない住宅密集地については、防火水槽の

設置を急ぐべきだ。また、冬場に水が来なくなる水路の対策をどうするか。

防災の拠点である消防庁舎が老朽化している。耐震診断などの対策を検討せよ。

岩田消防署長 町には、防火水槽63基、打ち込み式消火栓18基設置しており、今後とも地域の危険度、重要度を勘案し計画的に進めていきたい。

冬期間の水路については、防火用水量を優先的に流すよう関係機関に働きかけ、連絡調整の場を求めていきたい。

助役 学校の耐震診断が終了しだい消防署に着手したい。

桃李小学校の通学路の  
抜本的改善を

県道であるJRガード下は  
県も本格的整備を検討して  
いる

問 長島交差点からJR高架橋下は、道幅が狭く危険である。早急に抜本的改良を行うべきだ。

また、JR線南側に並行する通学路の拡幅と防犯灯の設置を急ぐべきだ。

小森建設課長 JRガード下は、町の重点要望とした。県も本格的整備を検討している。

藤原・長島線は、地元の協力を得た所から進めている。防犯灯では、北電ができるだけ協力すると言っている。

水路の閉塞対策や憩いの場  
としての海岸整備の検討を  
国土交通省に強く求め  
ていく

問 古黒部地内の清水川や中又排水の早急な河口閉塞対策を、国や県に求めよ。

海岸でのゴミの投棄を防ぐために、行政が草刈りなどの環境整備の強化を図るべきだ。

また、海辺を町民の憩いの場とするように、緑を生かした整備を検討すべきだ。

建設課長 清水川については国土交通省に強く要望していく。中又排水は、河口位置を変えられないか検討し、県に働きかけたい。

海岸は、景観や利用しやすさに配慮した整備を強く働きかけたい。

# 拉致濃厚被害者の支援窓口の設置を

佐藤 一仁 議員

## 町長

### 総務課に支援窓口を設置する

問 北朝鮮の拉致問題を扱う「特定失踪者問題調査会」は、入善町の女性を「拉致の疑いが濃い」と発表した。

当局はどのような支援対策を考えているか。

町長 県や警察など関係機関と連携をとりながら、全容解明のために国へ働きかけていきたい。

総務課に担当窓口を設置し、町がご家族の心の支えになれたらと考えている。

#### 行財政改革の基本方針を問う

#### 全ての事務事業を見直し、無駄を削減する

問 町は「行財政改革町民懇談会」を立ち上げ、行財政改革に取組んでいるが、その基本方針はどのようなものか。

また、懇談会よりも審議会などにしてはどうか。

中島総務課長 「入善町は合併しなかったためにすたれた」と言われないよう、行政サービスを維持し健全財政に努める。全ての事務事業を見直し無駄を削減する。

町民懇談会に提案し、11月までに策定する重点課題は次の5点である。①全事務事業の見直し ②組織機構の見直し ③公共施設管理運営の合理化 ④職員の定員管理などの適正化 ⑤職員の能力開発の推進。

審議会は条例で設置する付属機関であり、執行機関の諮問に対して審査、審議し、答申する職務権限を有する機関である。

しかし、今回は各界各層の委員の意見を様々な面において自由、活発な意見を求める観点で懇談会を設置した。

#### 心の教育について、町教育委員会の独自の指導方針は教職員の資質向上のために研修を設定している

問 佐世保市などの児童生徒の事件を聞くと無念さを感じる。大人社会の歪みが子供達

の環境や、心の発育に支障をきたしているのではと考える。事件後の担任教師の入院など、最も身近にいたべき大人が最も必要な時にいなくなるのでは、子供たちがますます混乱する。こういったことが教育現場にあるとすれば問題である。

これを期に、町教育委員会の指導方針を問う。

教育長 児童生徒の関係する殺伐とした事件の多発に憂慮している。

教育の目標は、自ら学び考え、主体的に判断し問題を解決する能力、他人と協調し思いやる心、感動する豊かな心を持った人間を育てることであり、これらが広い意味での心の教育と考えている。

学校では、道徳の時間や特別活動、総合的学習や職場体験、ボランティア活動や自然学習など、地域と交流しながら豊かな心を養うよう努めている。

また、教職員の指導力の危機管理も強く求められており、一層の資質向上を図るため研修を設定している。



中学生のボランティア清掃

# 女性救急隊員の養成を検討せよ

上野 等 議員

## 消防署長

## 今後の課題としていきたい

問 平成6年3月、「女子労働基準規則」の一部が改正され、女性の深夜業の規制を解除する業務の中に消防の業務が加えられた。

女性消防士も24時間体制で119番受信指令業務、火災調査業務、現場における情報収集業務などに従事できるようになった。

今後の救急業務の現場では、女性、妊産婦、子供たち、高齢者などに対し、女性隊員ならではの安心感が求められる。また全国的にも問題となっているドメスティックバイオレンス（配偶者からの暴力）を受けている女性への対応など、男性救急隊員には話したくないケースもあると思われる。今や、「女性救急隊員が来てくれてよかった」と言われるような時代になって来ているのではないか。

町当局は、今後の女性救急隊員の養成をどのように考えているのか。

消防署長 男女雇用機会均等法の制定と「女子労働基準規則」の一部改正により、女性の職場への進出が改善され深夜業

務も可能になった。

今年3月に消防庁が示した「女性消防職員の警防業務への従事に係る留意事項について」の通知では、女性消防職員の積極的な職域拡大の取組を求めている。

高齢化社会の進展により、救急現場においての女性、妊産婦、子供たちなど、災害弱者への対応が迫られている。

女性としての温かい安心感、ソフト感を活かし、「女性救急隊員が来てくれてよかった」と言われるよう、救急隊員の養成を今後の課題としたい。

水位低下が懸念される打込み式消火栓の対策は

随時揚水試験を実施し維持管理に万全を期す

問 打込み式消火栓は、地域住民の強い防火意識と危機管理の元に、防火水槽の代替えとして、平成9年から海岸地帯を中心として設置されている。

しかし、地下水は融雪装置をはじめ、飲料水、工場用水

など、多種多様に利用されているため、水位の低下、水系の変化が大いに懸念されている。ポンプ車が揚水できるかは、放水して初めてわかるような状況だ。

町当局はどのような対策を考えているのか。

消防署長 入善町は黒部川水系を基本とする用水が扇状地に広がっており、地下水も豊富である。火災消火の際はこの水利が有効になっている。

打込み式消火栓は、古黒部地区に設置されたのをはじめとし、現在18基設置されている。

打込み式消火栓は防火水槽と異なり、消防ポンプ車は1基1台しか接続することができない。しかし、住宅密集地での土地の取得には、あまり広い用地を必要とせず、工事期間も短期で済む。

担当分団は、年間を通し定期的に放水訓練を実施しており、消防署においても随時揚水試験を実施している。

今後も火災発生時には迅速かつ的確に消火活動ができるよう、維持管理には万全を期していきたい。



活躍中の女性消防士

# 入善町消防団音楽隊設立の考えはないか

東狐 和議員

## 消防署長

### 消防音楽隊設立を視野に入れ 魅力ある消防団をめざす

問 消防団音楽隊は、音楽を通して町民の防火思想の普及と地域文化の発展に寄与する中核的存在である。

県内や全国でも優秀な成績

を収めてきた入中、西中学校吹奏楽部卒業生の協力を得られるような町消防団音楽隊の設立の考えはないか。

消防署長 県内では現在富山市、高岡市、小矢部市、福光町に消防音楽隊がある。

本町には県下でも屈指の歴史と伝統のある消防ラッパ隊がある。現在20名の隊員で編成されていて、さらに充実を図るため25名程度にし、将来は消防音楽隊の設立を視野に魅力ある消防団をめざしたい。



県下で屈指のラッパ隊

心の教育と命を大切に  
教育のあり方は

乳児期から幼児期にお  
ける家庭教育が最も大切

問 佐世保の小学生の殺人事件で改めて命の教育の大切さを痛感した。子供たちに命の大切さをどのように教えておられるのか。

教育長 命の大切さは人と人との関わり合いの中で行動を通して培われるものであり、まずは家庭教育が最も重要である。

問 お互いにメールで文字を使っておしゃべりできる「チャット」でトラブルが起きる時代である。学校での「情報モラル教育」を早期に急がねばならないと思うが。

学校教育課長 「チャット」の正しい活用方法や相手を傷つけないモラル、心の教育は、

家庭や学校教育で道徳の時間や特別活動など、あらゆる機会を通して行うように努めている。

問 心の豊かさを高める読書活動推進を図る学校図書司書の配置の現状はどうか。

学校教育課長 12学級以上の学校に配置することになっているが、現在は全ての学校に配置している。しかし財政上専任司書ではなく、兼務となっている。

町の図書館とも会合を持ち読書教育や図書購入に携わっている。

地域に密着した高齢者サービス  
の整備充実を

新たな特定サービスは地  
域ニーズに応じ町が実施

問 高齢化社会が急速に進み、市町村特定サービス（痴呆見守り、夜間緊急訪問など）を

整備、充実していくべきではないか。

健康福祉課長 介護保険制度が施行されて4年を経過した。5年をめどに制度全般の見直しや検討を行うが、今後は施設よりも在宅サービスの充実がますます重要である。

新たな特定サービスは地域のニーズに応じて市町村が責任をもって実施し、痴呆性高齢者ケアを図るべく今後の国の動向を見守っていきたい。

年金の出前講座の状況は

婦人会や農協青年部で実施

問 年金出前講座の状況はどうか。

住民環境課長 婦人会や農協青年部の要請で年金納付の説明会を5回行った。

1人でも無年金者をなくし将来安心して暮らせるためにも出前講座を推進する。

# 町の若年者雇用対策の現状はどうか

大橋 美椰子 議員

## 商工水産・深層水課長

## 設備投資の意欲が上向いているものの雇用についてはまだ厳しいものがある

問 全国的には学卒無就職者やフリーターが増えているが、町の実態はどうか。

商工水産・深層水課長

町におけるそうした統計は、なかなか実情が分からない。

問 県内における「ジョブカフェ」と「日本版デュアルシステム」の取組はどうか。

商工水産・深層水課長

若い世代に対する就職相談などを行う「ジョブカフェ」は、今年7月に富山市の「とやま自遊館」に設置された。

県ではハローワークとタイアップし、相談や適性指導などワンストップサービスで行う。

企業と学校が連携して職業教育訓練を行う「日本版デュアルシステム」については、県はインターンシップで対応しており取り入れる予定はない。

問 町内企業と連携した雇用創出の成果は見えているか。

商工水産・深層水課長

先月、町内の主な企業に対し訪問と文書による若い世代の採用をお願いした。

訪問先の企業では最近の景気により設備投資の意欲が上向いているものの、雇用につ

てはまだ厳しいものがあると感触である。設備投資が進めば雇用の面でも好影響をもたらすと考える。

### 「地域ぐるみ学校安全推進モデル事業」の活動を示せ

### 学校、家庭、住民および関係機関が協力推進する

問 教育センターにおける「地域ぐるみの学校安全推進委員会」の活動を示せ。

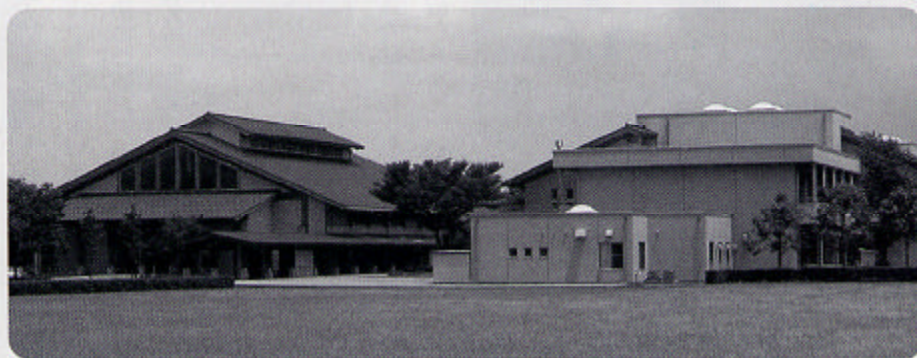
学校教育課長 学校、家庭、地域住民および関係機関が協力連携し、学校における安全教育の充実と、適切な安全管理に関する取組を推進する。

事業内容は次の4点に集約できると思う。①家庭や地域社会、関係機関との連携強化 ②安全教育の実施 ③防犯活動、避難訓練の実施 ④地域住民の防犯意識の高揚である。

問 警察官OBによる町の安全パトロール隊員の活動状況はどうか。

学校教育課長 自主的に地元地区の安全確保の活動を行っておられる。将来、町全域のパトロールも検討されてお

地域で守ろう学校安全



### 総合型地域スポーツクラブ設立の取組は

### 人材の育成、クラブの組織化をめざして努力する

問 特色ある総合型地域スポーツクラブの設立に向けての取組状況はどうか。

泉生涯学習・スポーツ課長

今年の3月までに5回の委員会を開催した。スポーツの現状と課題を把握し、子供や親子、高齢者、健康づくりなども対象に、必要な事業の内容を検討した。

地域住民による自主的、自発的なスポーツクラブの組織化、定着化をめざして努力したい。

問 スポーツ少年団や青少年の育成の現状はどうか。

生涯学習・スポーツ課長

スポーツ少年団育成補助金などを交付しており、今後とも支援していく。

青少年の健全育成では、父兄の働く職場見学やボランティア活動などが行われている。

り、町での犯罪防止に期待をしている。

問 地域住民が協力し継続的に活動できる場として、例えば公民館などを設定してはどうか。

学校教育課長 関係機関と協議し指摘の方向で検討したい。

# 自然豊かな入善にて!

入善町に移り住んで

美善町 大川 冬樹

NECトーキン富山の太川です。1988年に初めてこの地に赴任した時のことは、今でも忘れません。夕方、入善駅に降り立ったとき、その煩刺す風の冷たさに妻と2人で思わずホームで抱き合ったことを。

静岡で生まれ、関東で育ってきた者にとって、本格的な北陸の冬の洗礼でした。雪降る中で、空の色と海の色が一体となって水平線が見えない様は、明るい関東の空つ風の冬しか知らない身には、自然の厳しさを教えられました。

入善を離れてから8年、タイのバンコク駐在を経て、再度入善に来るとは思いませんでした。タイも確かに自然豊かな国です。自然に恵まれたリゾートもたくさんあり、それなりに楽しんできましたが、私には何かもの足りないものを感じていました。それは、四季が無いことです。タイには四季がありません。一年中夏です。そこが入善の自然と違うところです。タイから入善に着いた時それを一番感じました。



浄化センターマレットゴルフ場にて  
(左端 大川氏)

常夏の国から戻り来て  
澄み渡る空の高さ

キラキラ光る水の音

映りゆく樹木の色  
四季の美しさが肌にしみる

現在は、朝晩「水の小径」を毎日歩いています。歩きながら四季折々の自然を楽しんでいます。

まだ薄暗き冬の朝  
冷たく響くせせらぎの音

歩を早め

白き息の先

きらりと光る

うぶげやさしい雪柳

そのかがやきに陽春の光待つ  
……冬の「水の小径」にて……

## 入善むかし話 (森清松編より)

### 「東狐の宮」

この村は、元和元年(一六一五)に開かれたものですが、その時の用水奉行に東掃部という人がいました。

ある時、掃部は、ふとしたことから狐の子を殺しました。ところが、それからというもの、親狐が仇をして、どうにもなりません。そこで掃部は、それをなだめるために、お宮をつくりました。それからというもの、少しも仇をしなくなったので、村の名を「東狐」としました。

また、富山のある大名が、すこし気が変になったので、古い師にみてもらうと、

「東の方十里のところには東狐の宮があります。そのお宮に参れば、きっと治ります。」

そこで、かわり

の人をつかわして

お参りしますと、

たちまち治ったので、その大名は、

たいへん喜んで、

りっぱなお宮をたてたといわれています。



東狐の宮(こま犬(狐?)

## 編集の窓

行財政改革が叫ばれるなか、経費を抑えいかに効果のある事業にするかは、「議会だより」にも求められています。当編集委員会は、委員が直接パソコン編集を行い、印刷業者にデータを渡すことで、経費の削減につなげることができました。

また、これまで相当な費用がかかることされた「議会だより」のホームページ化も、新たな経費負担なしで実現できました。

協力をいただいた関係者に感謝するとともに、より親しみやすい誌面づくりに取組んでまいります。

### 議会広報編集特別委員会

委員長	中瀬 範幸
副委員長	松田 俊弘
委員	佐藤 一仁
委員	長田 武志
委員	上田 健次
委員	東狐 和